

## 日銀神戸 支店長の 視点



別所昌樹氏

あつ、涼しい。6月に神戸に住み始めたときの印象です。夕方に山側から浜側に吹く風をなんとも心地よく感じました。でもそれもつかの間、気がつくといく「暑いですね」と言う自分がいました。身体が神戸になじんだのかもしれないが、やはりこの夏は暑かったようです。神戸の8月の月平均気温は観測史上最高だったそうです。

猛暑の原因として温室効果ガスによる気候変動は無視できないさそいで、世界で対策が進んでいます。兵庫県でも水素、アンモニア、太陽光等の代替エネルギー活用、エコカー等に使われるバッテリー関連製品の生産等がみられます。

中央銀行界も、金融システ

### 気候変動対応 金融の役割は

△面から気候変動を議論するネットワーク「NGFS」を立ち上げ、百を超える中央銀行・監督当局がメンバーです。日本銀行も参加し、「物価の安定」と「金融システムの安定」という使命を意識した取り組みを進めています。

金融政策では、「気候変動対応オペ」を行い、金融機関が気候変動対応融資を行う際の資金調達を支えています。民間の気候変動対応を応援し、マクロ経済の安定に役立てることが狙いです。

金融システムの面からみると、気候変動のリスクには、災害や異常気象の増加、海面上昇等が生む「物理的リスク」と、脱炭素社会に向けた産業活動の変化が生む「移行リスク」の2種類があります。これらのリスクは、資産価値や投資先の業況の変化等を通じて、金融機関の経営にも影響します。日本銀行は、こうした影響の調査研究を進めるとともに、気候変動に伴う金融リスクの管理強化に向けた金融機関の取り組みを積極的に後押ししています。